

学生が行きたくなる大学づくり

C-2班 クリス石井JAPAN
～絶対に負けられない〇〇がある～

アウトライン

- A) 背景・現状
- B) 施策① 情報所在の明確化
- C) 施策② コミュニケーション
- D) 施策③ 学生のニーズに応える大学へ
- E) まとめ

はじめに

テーマ設定の背景

学生が入手したい情報をすぐに提供できず、学生・教職員がたらいまわしになってしまっていることが多くある。そのためか、大学に対して不満を持つ学生が多く、**各大学においても学生満足度を高めることができない**現状がある。

また、各大学が抱えている問題として**離学率の高さ**、トイレで一人でご飯を食べている学生もおり、**大学の雰囲気**が閉鎖的になりつつある。

これらを解決するために、学生が大学に行きたくなる大学をめざす。

I .情報所在の明確化

I. 情報所在の明確化

得たい情報を即座に、適切に提供出来ない。



たらい回しでイライラが募る。



【解決するための施策】

情報の在りかを明確にした学内ポータルサイトの構築・活用

- ・履修状況の確認
- ・単位取得状況、出欠状況、
- ・イベントの詳細、年間スケジュール(学年暦)



学生が必要な時に必要な情報が得られる仕組みを提案する。

GOAL

結果として、学生がストレスのない充実した学生生活を送れるようになる。

具体例(OK大学)

- ・教室の電源を鍵の開け閉めで管理し、教員の所在を明確にする。
- ・窓口担当職員の顔写真を提示し、窓口を訪れるのではなく人に相談しに行く。

Ⅱ.コミュニケーション

Ⅱ.コミュニケーション

情報所在の明確化を行い、学生のたらい回しが遑減。

各大学での離学率の高さ、学生・教員・職員間のつながりが閉鎖的である。



【解決するための施策】

- ・双方向でのコミュニケーション
- ・立場に関係なく、自由な内容をやり取りできるサポートネットワークの整備

GOAL

学生・教員・職員それぞれの結びつきが深まる。

具体例(O大学)

FACEBOOKなどのSNSを大学全体として積極的に活用する。

Ⅲ.学生のニーズに応える大学へ

Ⅲ 学生のニーズに応える大学へ

これまでの2つの提案を受け、学生・教員・職員での双方向コミュニケーションを実現し、学生のコミュニケーション能力が向上して諸活動すべてがうまく回り出す。

学生のニーズに応える大学

情報所在の
明確化

コミュニケーション

常に学生の声を拾うことが出来ているか、確認するための独自アンケートを実施。



大学運営に反映させることを学生の声と共に解決策を提示する。

GOAL

自ら発信できる学生が育つ

学生が行きたくなる大学は...

• 情報所在の明確化

• コミュニケーション

• 学生のニーズに応える大学へ

学生が行きたくなる大学へ

情報所在
の明確化

学生の声
を反映

コミュニ
ケーション

学生の
ニーズに応
える大学へ

